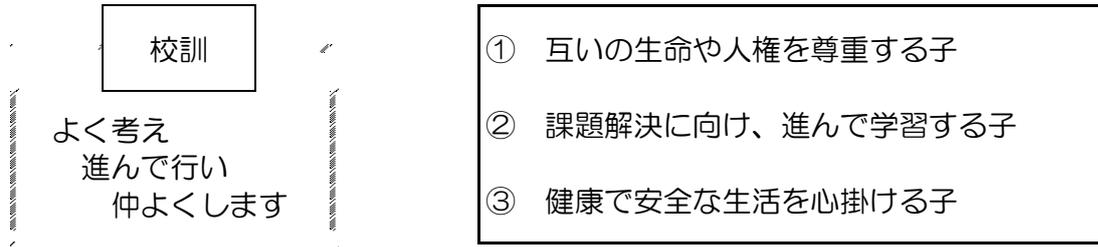


1 学校教育目標

社会の変化に対応し、21世紀をたくましく豊かに生きる子どもの育成を目指し、次のように教育目標を定める。



2 本年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 重点的努力目標

主題 **できた！分かった！と言える子を目指して**

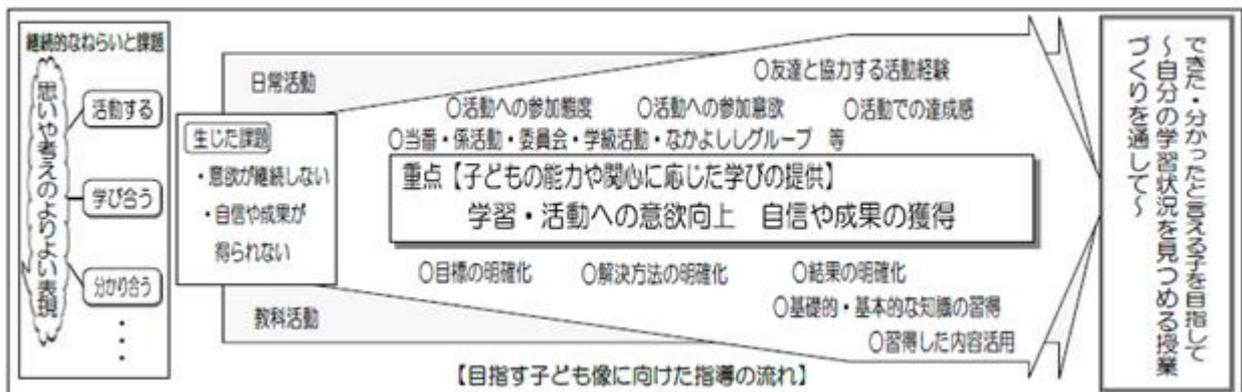
～自分の学習状況を見つめる授業づくりを通して～

本校では、基礎・基本の定着のために、教材開発や、TT・個別指導等の指導方法の工夫に継続的な努力をしてきている。様々な場面におけるペア・グループ活動によって子ども同士の学び合いを取り入れることで活動への自信をもたせ、「自己肯定感の高まり」を感じられるようにしてきた。こうした取り組みの中、子どもたちの学習意欲が向上したり、「分かった」という学ぶ喜びを味わったりするためには、「子ども同士の意見の交流」「考え方の共有」など、子ども同士のやりとりが大切なことが分かってきた。

今年度は、「できた！分かった！と言える子を目指して～自分の学習状況を見つめる授業づくりを通して～」をテーマとして実践に取り組んでいく。本努力点のメインテーマは4年目となる。子どもたちは年を追うごとに自己肯定感を高める姿が見られる。しかし、学習の途中で解決方法が分からなくなってしまうたり、努力が成果として表れなかったりすることから、自信を失い学習意欲を継続させることができない子どもの姿も、少なからず見られる。そこで、一つの授業を「導入の場面」「展開の場面」「まとめの場面」の三つの場面に分けて考え、それぞれで学習意欲を継続させたり、学びを確かな学力とさせたりすることができるような手立てを講じることにした。

また、昨年度同様に実践の成果を家庭へと情報発信するとともに、学校評価アンケートの項目として意見集約し、家庭との連携の方法を工夫して進めていく。

具体的には、次のような内容や指導の場で、実践を進めていきたい。



① 具体的な内容と実践イメージ

② 実践の場

ア 各教科の授業

イ 日常指導

③ 年間計画

月	主 な 内 容
4	研究計画 実態把握
5	教材検討 調査分析 実践計画発表会
6	1学期実践の検討 授業研究 事後検討
7	各部会の実践計画の見直しと修正
8	1学期のまとめ2学期以降の実践計画 教材検討
9	2学期の実践状況についての共通理解
10	中間報告会
11	各部会の実践計画検討 授業研究 事後検討
12	2学期のまとめ
1	最終報告書の検討
2	授業参観 最終報告会 1年間のまとめ
3	次年度へ向けて

(2) 継続的な努力目標

本校では、人権教育を基盤としたふれあい活動に取り組んできた。本年度も継続的な努力目標として設定し実践を進める。生活科や総合的な学習での福祉や国際理解、集会活動や学校行事等の中で、人とふれあう体験を重視した実践を進め「命を大切にし、ともに生きようとする子」を目指していきたい。

	低学年	中学年	高学年
身に付けさせたい力	体験活動を多く取り入れ、主体的に学習する基盤を身に付ける。	自分の課題をもち、見通しをもって追究する能力を身に付ける。	追究したことを表現する能力を身に付ける。
育てたい心	身の回りの人や自然とふれあうことの大切さに気付く。 なかよく	身の回りの人や自然と積極的にかかわろうとする。 相手の気持ちを考えて	相手のことを認め、自分ができるところをしようとする。 ちがいを認めて

・年間計画

月	主 な 行 事
4	1年生を迎える会
5	環境学習ウィークの計画 運動会
6	クリーンウォーク
7	夏まつり集会
9	あいさつ運動 人権学習授業参観
10	学校開放週間（ふれあいフェスタ）
11	学芸会 あいさつ運動
12	人権週間の取り組み
1	あいさつ運動
2	学年末授業参観
3	6年生を送る会

・年間を通した実践

みんなのつどい、なかよしグループの活動、生活科、総合的な学習の実践

(3) 推進組織

